

令和7年度 あおばスタート補助金 交付事業一覧

申請順	団体名	事業名	概要	
1	こども手しごとカフェ	<p>生きる力、暮らす力を育むこどもの居場所 「こども手しごと」</p> 	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍を低学年期に過ごした児童を対象に、生きる力と社会性の育成を目的とする。 ・手しごとや調理体験を通じ、自分の興味に気づき、失敗を受け止め、仲間と協力する力を育む。 ・体験の積み重ねにより、課題に向き合い自分なりに解決する力の土台づくりを図る。 	
			<p>場所・エリア</p>	<p>横浜市たまプラザ地域ケアプラザ</p>
			<p>主な実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもを対象に、月1回・第2日曜日に定期開催し、少人数制（10人程度）で継続的な体験活動の場を提供した。 ・洋裁や手芸、リメイク等のものづくり活動を通じて、子どもの創造性や主体性を育む体験を実施した。 ・調理体験では、一食分を自分で作ることをテーマとし、生活に必要な基礎的な力の習得を支援した。 ・カードゲームやボードゲームを取り入れ、遊びを通じて社会性や協調性を養う機会を創出した。 ・学校以外でも安心して過ごせる環境を整え、子どもの居場所として、孤立や不安の予防に寄与した。
			<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を通じて顔の見える関係性が形成され、参加した子どもや保護者が他の地域イベントにも関わるなど、交流の広がりが見られた。あわせて、ボランティア参加をきっかけに、世代を超えたつながりも生まれた。 ・学区や通学形態、家庭状況に関わらず、子ども同士の自然な関わりが生まれ、地域活動が多様な子どもを包摂する交流の場として機能していることが確認された。 ・共働き世帯等が多い地域特性を背景に、保護者からは「家庭では難しい体験の機会を提供してもらえる」といった声が寄せられ、地域活動が家庭を補完する役割を果たしていることがうかがえた。
2	禅当寺自治会	<p>禅当寺自治会 顔の見える関係づくり 第2弾「ベビーサロン」</p> 	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、若い世帯の転入が増加傾向にある一方で、日常生活の中で近所同士がつながるきっかけが少なく、地域との関わりを持ちにくい状況。 ・特に子育て世帯からは、「身近に相談できる友人がいない」「子育てや地域の情報を共有できる場が欲しい」といった声がある。 ・こうした状況を踏まえ、乳幼児期の子どもを育てる世帯の不安や孤立を防ぎ、保護者同士が気軽に交流し、仲間づくりができる場を創出することを目的として取り組みを実施。 	
			<p>場所・エリア</p>	<p>地域内の空き家</p>
			<p>主な実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を育てる世帯を対象に、3か月に1回「ベビーサロン」を開催し、子どもと一緒に参加した保護者同士が交流できる機会を創出した。 ・民生委員・児童委員や地域の子育てサロン、地区社会福祉協議会主催の子育て広場など、関係団体の協力を得ることで、子育てに関する情報提供を行い、子育て世帯が抱える不安の軽減につなげた。
			<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に転入してきた子育て世帯同士が交流し、育児や地域生活についての情報交換・共有を行うことができた。 ・子どもをきっかけに保護者同士が知り合い、互いに顔の見える関係を築くことで、親同士の親睦を深める機会ができた。 ・ベビーサロンへの参加を通じて、参加者が自治会活動に親しみを持つきっかけとなり、将来的に地域活動を支える担い手が生まれることが期待される。